

# ワカメ養殖情報第11号(平成29年4月7日)

- 本県沿岸10海里(19km)以内の表面水温は、黒埼沖で8℃台、トドヶ崎沖で7~8℃台、尾崎沖7~10℃台、樺島沖で8~9℃台でした(図1)。
- 10℃以上の水帯が、表面では10海里以東を、100m深では30海里以東を北上しており、その先端は県中部沖にあります(図1)。
- 全域で水温偏差は高めに推移しており、特に県中部から県南部の沖合域で表面及び100m深ともに平年より最大8℃程度高めです(図2)。
- 4月6日の定地水温は、野田湾で8.4℃(過去平均差+1.2℃)、船越湾で8.8℃(過去平均差+1.5℃)、広田湾で8.5℃(過去平均差+2.0℃)です(図3)。
- 4月4日の県央地区における葉長の測定結果は、254cmでした(図4)。
- 県南部湾内定点の栄養塩濃度は、平年よりも低く推移しています(4月4日)。
- 漁協が提供する栄養塩情報を参考にして、栄養塩や水温の動きに十分注意し収穫を進めてください。

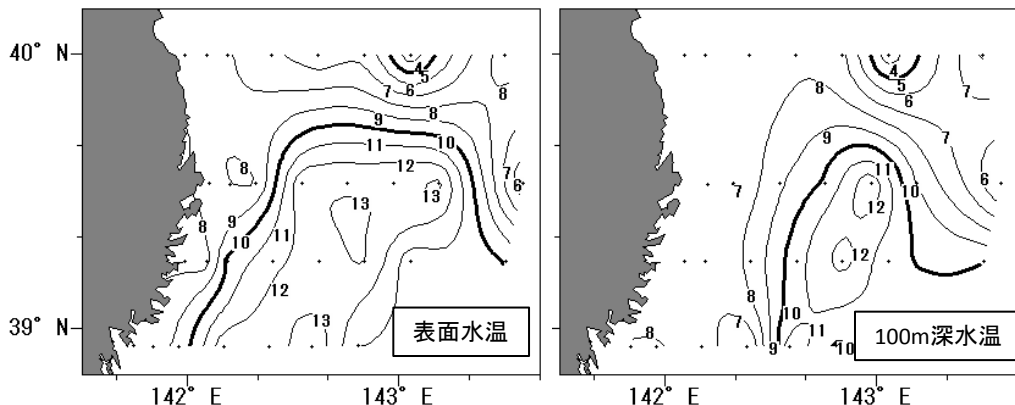


図1 岩手丸定線海洋観測による表面及び100m深水温分布図(観測日:4月4~5日)

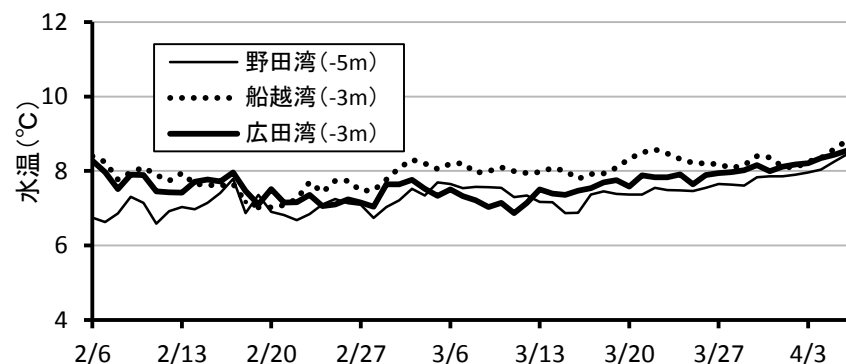


図3 野田湾、船越湾及び広田湾における水温(午前10時)の推移(直近2ヶ月)

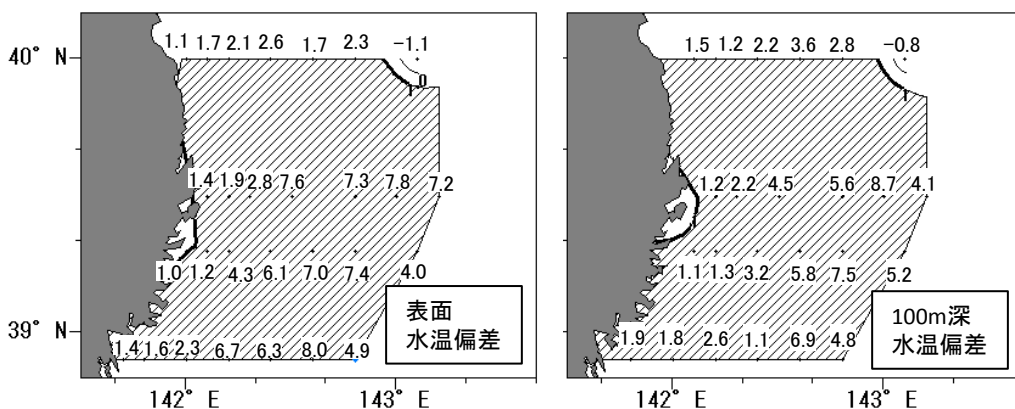


図2 岩手丸定線海洋観測による表面及び100m深水温偏差分布図(観測日:4月4~5日)  
( は1℃以上高めの領域を示す。)

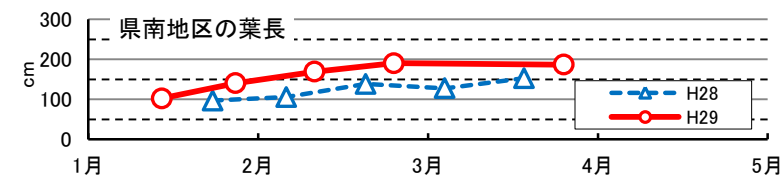
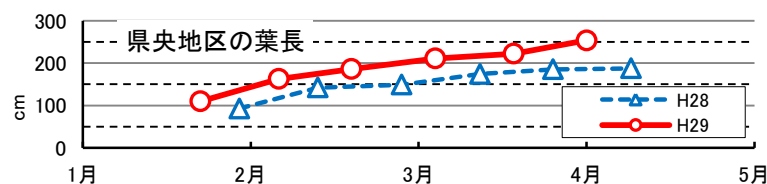


図4 ワカメ葉長の推移

※湾内自動水温観測装置(定地水温観測システム)の設置、水温及び栄養塩予測のためのソフトウェア開発、沖合栄養塩の分析は、農林水産省 農林水産技術会議による「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」による成果です。なお、定地水温の値は、午前10時の水温を採用しています。